

とおるの トーク

いつの日か、困難さを乗り越えて

外ではセミが大合唱を始めた、豪雨被害があろうがなにが起きようが自然は確実に季節を、時を刻み進む。今年も原爆のこと戦争のことを思う。

翻ってぼくたちは、連日のようにコロナの新規感染者数に一喜一憂するこの頃である。この騒ぎは当分続きそうですね。新しい日常と言われても昭和生まれのぼくにはピンとこないな。あなたはどうだろうか？

ある友人からのメールにもこんな一文があった「日常は大きく変わってないけど精神的にはコロナにかかるような生活はしちゃいけない、というプレッシャーがすごくあります。だから外出はまだ大分控えています。おうち生活は嫌でなく楽しいけれどプレッシャーは嫌だな。コロナの一番怖いところはこういう精神面かもしれないです」と。まさに同感である。周りからの同調圧力にストレスを感じることも多々ある。国民の大半が自粛した結果一時期感染者も減って終息の兆しだったものを、政府がGo To トラベルで、また感染者倍増するしな。現政権は政策をいったん立ち止まって考えなおすことも出来ないんだね。考えたらわかるが旅行なんてのは行きたきや行くし、そこに大切な税金使って感染拡大させるとは。と思いませんか？

さてと、こんな時でも世の中は動く。昨年から香港で続く民主化デモ。その香港をターゲットにした[中華人民共和国香港特別行政区国家安全維持法]が中国で成立した。一国二制度が形骸化したわけだ。全体主義に翻弄される香港の人たちを思うと心が痛む。イギリスに亡命できる人もいるが一握りだ。今こそ国際社会で中国に物申す姿勢が必要だよね。

コロナ禍で感染しちゃいけないという同調圧力によるプレッシャーにせよ、全体主義社会で自由を奪われるプレッシャーにしても、どちらも人間の精神を脅かすという面においては同じだ。ここは [イマジン] の作者であるJレノンよろしく夢想家になって、いつの日か困難さを乗り越えて、少数の人の意思をも大切に扱われる社会は必ず来る信じたい。

文：静岡障害者自立生活センター 橋本とおる

【編集後記】昔から続いている機関誌をリスペクトする意味を込め、前回より「ひまわり通信」として再復活させました。レイアウトも前回から（元？）プロの職員が携わることで、見やすくなつたと思います（自画自賛!!）。内容については、今後は運動体としての内容も充実させて行くと同時に、コロナウイルスの感染防止をしながら、タイムリーな記事や、生き生きとしたみんなの姿を伝えられるように頑張っていきます!!!

広報委員：小久江 寛



今回は、当団体の「就労継続支援 B型それいゆ」とアート活動を通して親交のあるココワさんへ利用者さんと一緒にお店を訪問させていただきました。

ひまわり通信

Vol.2 2020.9.

“どんなに重い障害があっても地域で共に生きる社会”を目指して

発行：特定非営利活動法人 ひまわり事業団
静岡障害者自立生活センター

〒422-8006 静岡市駿河区曲金 5-4-58
TEL : 054-288-6068 FAX : 054-287-4922
E-mail : himawari@scil.jp HP : <https://www.scil.jp>



店内には、お子さん達の作品のほかにも、全国の福祉事業所や障害をもつ子供達の作品を仕入れて紹介・販売しています。

cocore って・・・？

静岡市清水区の次郎長通りにお店を構える雑貨屋さんで、障害のあるお子さんを持つお母さんが立ち上げました。「cocore」という店名は、お母さん同士で集まって飲んでいる時に、夜中の2時に思い付いたそうです。「cocore」の文字の中には「個」「子」「心」「輪」「コア（核心）」等の意味が込められています。アルファベットの表記も、大文字にしようか小文字にしようか、「K」よりも「C」の方がいいかな…等、アイデアを皆で出し合って、「cocore」に決定しました。

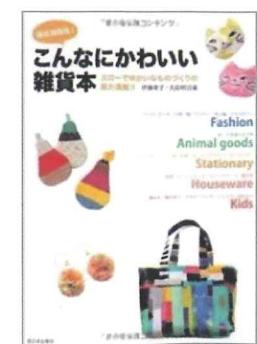
「cocore」の活動へのたくさんの思いが詰まっています。

今までの常識ではないもの、おもしろさ。そこがいい。

きれいに、真っ直ぐ縫うこと・・・。

それが良いこととされ、訓練されていた今まで。何か違うと感じていた時に、「こんなにかわいい雑貨本」という、1冊の本に出会います。その本にある雑貨は、どれも福祉事業所の製品だけど、いわゆる授産品ではなく、色鮮やかで可愛らしいものばかり！！

「これだ！」と思い、その本を色んな人達と見る中で、須田さん（右ページ写真）の息子まさき君が通う放課後等ディイサービスのスタッフから、「子供たちの描く絵が凄くかわいいんだけど、何かにならないかな」という相談を受け、そこから、cocoreの活動が始まりました。



西日本出版社
伊藤 幸子(著)・太田 明日香(著)



営業日：不定
静岡 清水区清水町 8-6
駐車場 1台
<https://cocoreart.jimdofree.com/>

曲がっていたり、
はみ出していたりが、
おもしろい！

アートを通して、
彼らの魅力に
どっぷりハマってほしい。

今回、お話を伺った須田さん（写真右）と名倉さん（写真左）。お二人とも、笑顔とパワーと愛に溢れて、とても素敵でした。

cocoreは「一緒に面白がって、一緒にやる」がコンセプト。「障害にこだわらず、違うからこそその面白さを楽しんでほしい。世間ではまだ、きれいなものを要求されることが多い。意識をチェンジすることでもっと面白いものができるはず。そしてそれは人と違うことが認められることにつながる。」と笑顔で語ってくれました。



左から、名倉さん、青木さん、村上さん、佐野さん、須田さん



オムライスのTシャツのケチャップ部分は和裁の方に縫い方を教えてもらい、cocoreのメンバーで一針一針手縫いで縫い付け仕上げています。
cocoreの商品は、静岡市街にある三保原屋Loftにて購入できます。

文：鈴木梨可

コロナ禍を、楽しく過ごす為に…皆でやってみた⑥

梅雨の合間にぬって、お散歩に行ってみた！

緊急事態宣言は解除されたものの、今年は「さくらんぼ狩り」や「6周年記念の食事会」の行事は延期する事になりました。1台の車に8人では、ちょっと密ですよね・・・。夕食を折りに詰め、近くの池のある公園までお散歩に出かけると、「外で食べる」と美味しいね。」と。グループホームの体験の方も交えてのお散歩は楽しい一時でした。



まだまだ続くコロナ!
グループホーム内で花火をやってみた!

梅雨が明けたと思ったら急に暑くなりました。正直、お散歩はもう飽きた?暑い!確かに!何か楽しい事ないかな…? 夏といえば、あ!あれ!

夕方、駐車場に水を撒いて、皆で花火をするにしました。花火を楽しみながら皆で「早くコロナ終わるといいね~」と願いました。



※コロナ禍における、なな～らの活動において、住宅街でのバーベキューや花火の煙・匂いがあるのにも関わらず、近隣の皆様の温かいご理解に心より感謝しております。

暑さを乗り切る!土用の丑を満喫してみた!

コロナ感染予防の為、食事は全て各部屋で摂っていましたが、緊急事態宣言も解除され、利用者さんも手洗いや手指消毒がしっかりと励行できるようになった為、朝食は6時から女性、6時半から男性と入れ替わり制で今までのように食堂で一緒に食事を摂るようになりました。が、夕食は未だに各部屋で摂っています。

8月2日、土用の丑の日は外食できない代わりに国産鰻を奮発しました。自室での食事はちょっとさみしい?でも、一人暮らしなら、こんな感じかなと複雑な気持ちの人も「鰻は美味しいよ」と、皆満足のようでした。



文：清水かおり



外出企画 「就労継続支援 A型 こころ彩の事業所」見学!

7月10日(金)、生活介護それいゆメンバー7名、スタッフ6名で「就労継続支援 A型 こころ彩（以後：こころ彩さんと表記）」の見学に行きました。こころ彩さんは、静岡市駿河区高松でうどん屋さんを経営しています。他にも、シフォンケーキが有名です。今回の目的は、就労継続支援 A型がどんなことをしているのか知りたくて企画しました。

こころ彩に行った、メンバーの感想

Hさん 天ぷらがサクサクしていて美味しいかった。アイスも美味しいかった。広くて入り易かった。又、行きたい。

Oさん 美味しかった。



Fさん 初めて行った。車イスでスムーズに入れて良かった。うどんとアイスが美味しいかった。

Iさん お店が入り易かった。(バリアフリー) 食べ物も味が良かった。

Mさん 画期的な働き方だと思った。さすが就労A。障害を感じさせない雰囲気だった。味で勝負していた。



研修生、花井的視点!

私が見てきた、こころ彩さんで働いている利用者さんの様子は、障害のある人とないとの区別がつかなかったです。就Bと違って、利用者さんが支援員さんに頼らないで自分で考えて行動していました。将来、一般の会社に就職することを目指して必要な知識やノウハウを身につけていくので、すごく集中力と忍耐力が必要だと感じました。

今回の訪問にあたり、研修生、花井の反省点!

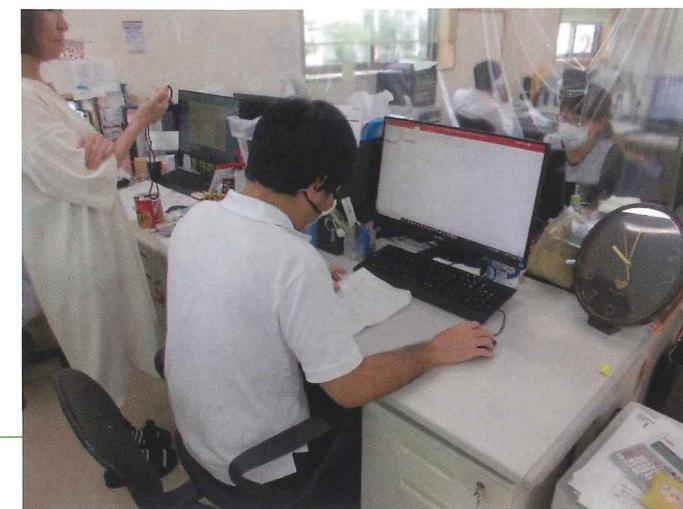
- ①事前の電話予約で上手に話しが出来ず、支援員に助けてもらうことになったので、次回は自信を持って1人で電話予約できるようにあらかじめカンペを準備して臨みたいです。
- ②今回、訪問日に雨が降って、いつもより交通量が多く渋滞が発生しました。そのため、遅刻する可能性が高かったので支援員さんに電話で連絡してもらいました。次回は、天候も含めた余裕あるスケジュールを作りたいです。そうすれば、約束の時間が守れて有意義な時間が過ごせると思います。
- ③聞いてきた（取材）内容を覚えておくことが出来ず忘れてしまうことが多いので、覚えているうちにパソコンに入力したり、またはあらかじめレコーダーを使うようにしたいです。

取材・文：花井大輔

令和 2 年度の 障害者技能競技大会 (アビリンピック) データベース部門に 参加しました。

ひまわり事業団 法人本部
総務部 比嘉靖知

日本にいる血友病患者 6000 人のうちの 1 人。ひまわり事業団では内部障害当事者として、総務で働いている。



本来であれば令和 2 年度アビリンピック静岡大会は 7 月 4 日に開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、一部の競技は中止となり、他の競技も書類及び作品の提出となりました。

ある日、理事長から「是非アビリンピックに出て欲しい」と言われました。それもいきなり全国大会のプログラミング部門に出て欲しいと。当然断りました。その後も、毎日顔を会わせる度に出場してくれと懇願され、しかたなく「プログラム部門以外でしたら」と出場することにしました。折衷案として理事長とどの種目にするか話し合った結果 Database にしました。

公開課題を見たところ使用するツールは Access であったため、すぐに購入し事務所の PC にインストール。

Micro Soft Office Master の資格は持っていましたが 15 年程前のこと。当時 office2003 の Word Expert, Excel Expert, PowerPoint, Access でした。

実務でも Access は使った事がない、使い方を思い出すと言うより新たに覚えるという感覚でした。過去の課題が公開されていたため、早速過去問を解きながら、まず使い方を覚えました。

作品提出期限の締め切りギリギリまで練習を行い、本番に臨みました。予選会場ではないですが、実際に会場にいるかの様にやるとのルールに従い行いました。持ち時間は 90 分で試験官役のスタッフがストップウォッチを持って時間を計り、不正が無いかをチェックしたりしました。

結果、全国大会出場となるか予選敗退となるかどうかは、この記事が出ている頃には判明されていますが、現時点ではまだわかりません。

この記事により、障害者技能競技大会の認知度が上がり、強いては障害者雇用の促進になれば幸いです。

● 静岡大会で書類及び作品提出による評価選考する種目

- ・ワードプロセッサー ・データベース ・オフィスアシスタント ・表計算 ・DTP ・製品パッキング
 - ・パソコンデータ入力 (※) ・縫製 (※) ・木工 A (※)
- (※) パソコンデータ入力、縫製、木工 A は知的障害者限定の種目です。

アビリンピックとは

大会の正式な名称は「全国障害者技能競技大会」ですが、親しみやすいものとするため、愛称として「アビリンピック」を使っています。

「アビリンピック」(ABILYMPICS) は、「アビリティ」(ABILITY・能力)と「オリンピック」(OLYMPICS)を合わせたものです。

アビリンピックの目的

アビリンピックは、障害のある方が、日頃培った技能を互いに競い合うことにより、その職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の人々に障害のある方々に対する理解と認識を深めてもらい、その雇用の促進を図ることを目的として開催しています。

大会の沿革

第 1 回大会は、昭和 47 年 11 月に、「全国障害者技能競技大会」の名称で、当時の雇用促進事業団中央技能開発センター(現在の当機構ポリテクセンター千葉)において開催しました。

その後、昭和 51 年の身体障害者雇用促進法(昭和 62 年の法改正により「障害者の雇用の促進等に関する法律」と名称を改めました。以下「法」といいます。)の改正に伴い、第 6 回大会より名称が「全国身体障害者技能競技大会」と変更されました。

さらに、平成 9 年の法改正により知的障害者が雇用義務化されたことに伴い、大会においても知的障害者が参加できることとし、名称を「全国障害者技能競技大会」と改めました。

静岡県において、第 7 回国際アビリンピック大会が開催されました。

そして、平成 18 年の法改正により精神障害者が雇用率の算定対象になったことに伴い、アビリンピックにおいても精神障害者が参加出来ることとなりました。

開催地については、昭和 47 年の第 1 回大会から平成 13 年の第 25 回大会までは千葉県で開催してきましたが、第 26 回大会以降は原則として技能五輪全国大会と同時期に開催し、全国の事業主や市民一般の方々に、障害者の職業能力についての理解と関心を深めていただくために、各地方都市で開催するようになりました。

また、第 1 回大会から第 9 回大会までは毎年度開催されてきましたが、昭和 56 年度に日本(東京)で第 1 国際アビリンピックが開催されて以降は、原則として国際アビリンピックが開催される年度を除き、開催することとなっています。

Supporter × Supporter

サポーター×サポーター特別編

今回は、特定のヘルパーさんではなく、岩崎さんの「旅行」という生活とは違う場面でヘルパーを利用したことについてお話を伺いました。

岩崎 由里子さん 誕生日:12月14日

高等学校卒業後に知的障害、自閉症の人のことを学びたく、県立大学へ心理学の聽講生として2年在籍。同時に自立生活センターとの関わりが始まった。



Q.ひまわり事業団との関わりはいつから??

私は、話せるが、身の回りのことはできないとのことで、就職は難しいと進路指導時に言われ、卒業生のいた自立生活センターを教えてもらいました。最初の2年間研修生としてピアカウンセリング・登録ヘルパーを静岡市で作るための活動などを学びました。

自立センター在籍中は、ヘルパー調整のコーディネーター業務を行っていました。外出時のガイドヘルパーの利用が最初で、母親が腰を痛めたのを機に、生活場面でも介助者が入るように。徐々にヘルパーの存在に慣れてきて、今では全面的にヘルパーを入れています。

Q. 嵐のコンサート旅行に初めてヘルパーをつれていったんですよね?

前までは友達同士で行っていたコンサートですが、身体状況が変わったのをきっかけに昨年10月末に初めてヘルパーさん2人を連れて1泊2日で行きました。友達と行ったときは、気を使っていないようで気付かない内にセーブしていたんだとわかりました。とっても楽しかった!同行するヘルパーも嵐のコンサートと一緒に楽しんでくれそうな人を厳選。ホテルは友人含めて4人で女子旅は楽しかったですよ。

トイレの設備など、写真が事前にわからないことが多いため、家では3人で使用していたリフトを使わないでリハーサル。母親に見てもらって、アドバイスなどもらいながら、ケア方法を調整しました。

ホテルの環境がホームページの写真だけではわからなかつたので、自宅でリフターなどの福祉機器がない環境で介助方法をリハーサル。母親から客観的に観察してもらいながら、ケア方法を調整しました。



旅行に一緒にいくヘルパーさんに大切なのは、共感できること。ケアはもちろん安心して受けられて、さらに共感できること。その場を一緒に楽しむ!という気持ち。『一緒に行動する』ということはそういうこと。

Q. ヘルパーさんとの旅行はどうでしたか??

友人との旅行で頼めなかったのがお風呂!

浴槽に浸かるのは難しくても、せめて頭を洗いたかったので、ヘルパー2人とも「どうすればできるか」を模索。ホテルのイスを使ったり、試行錯誤で、無事洗髪できました!

東京ドームの車イス席、以前は、前の座席の人が立ってステージが見えなかつたが、前の席を外してくれたり、バッヂ見えました!!(その間、ヘルパーさんは周辺で食事をしたり楽しんでもらいました。)

普段やらない化粧も自宅で練習して、旅行中楽しめました。



↑左は一緒に旅行に行った
お友達のNさん。今回、同行し
たヘルパーさん達は顔出しNG
だと…

Q. 他に旅行に向けてどんな準備をしましたか?

先ほども話しましたが、普段自宅では、移乗するときにリフターを利用しますが、ホテルにはないので、リフターを使用しないケア方法をシミュレーションしました。他には、静岡→東京間で必要なケアができるスペースを確認しました。

あとは旅行の荷物はヘルパーさんの分も含めて事前にホテルに送りましたね。帰りは中身がおみやげに変わって、また自宅に送りました(笑)

後は、ヘルパーさんに「一緒に旅行を楽しんで欲しい」と伝えておきました。



Q. 岩崎さんが他にハマっていることはありますか?

ツイキャスで配信されているトウクトウクで日本一周している人がたまたま静岡に立ち寄るのを知り、静岡駅に会いに行きました!リスナーさんが私が向かっていることをコメントをして知らせてくださいました。コンサート友達含めて全国に友人はたくさんいます。

あと、レジンのキーホルダーを制作、メルカリなどで販売中。色合いとかリクエストを聞いて制作しています。

←配信者の踊る便所太郎のりた屋さん

Mocco

遠くでなくても、散歩など部屋から出るだけで、何か変わるよ。みんな遊びに出よう!!

下見とか面倒と思う人もいるが、行き当たりばったりであったハプニングも思い出話として楽しめるよ!

私も今回、迷子になって大変でした(笑)ヘルパーさんとの信頼関係は日常のケアでも旅行でも必要。

これは友達とも同じことが言えますね。

岩崎 由里子





・ひまわり事業団を支える人 その2・

社会保険労務士 すずきえり 鈴木 絵里 さん

静岡市出身。静岡東高、神奈川大学外国语学部スペイン語学科卒業。
平成15年7月 社会保険労務士事務所（個人事務所）を開業。
平成31年3月 社会福祉士試験合格 同年4月に社会福祉士登録。
令和元年5月 しづおか権利擁護相談室（任意団体）を3人で設立
令和2年7月 Grand Farm株式会社 取締役就任

ひまわり事業団の「相談処」鈴木社労士にお話を伺いました。

社会労務士って何をする人？

社会保険労務士は、例えば仕事中にケガをした時の労災保険や、病気になった時の健康保険のような、労働・社会保険に関する手続きを代行したり、労務管理上で発生する問題の相談にのったりするのが主なお仕事です。また、年金の請求や、国から貰える補助金請求を中心にお仕事をしている社会保険労務士もいます。私の場合は、相談のお仕事の比重が高いように思いますが、もともと社会保険労務士になりたいと思ったきっかけも、そういう相談にのれる人になりたいと思ったから、こともあります。私にも遠い昔はO.L時代というものがありました。当時勤めていた会社の総務の担当者が、労災や社会保険の知識が無かったために、社員が労災や社会保険の給付を全く受けていない状態でした。それで総務の担当者の代わりに私が勉強して、周りの人に教えてあげ

たいと思ったのが事の始まりです。今思えば、かなりおせっかいな26歳でしたね。そして勉強を始めてみると、日本は申請主義で、知らないで申請をせずに損をすることが多いのだろうと思い、ますます勉強しようと思うようになりました。それで、どうせ勉強するならば資格を取ろうと思ったのですが、そこから資格がとれるまで4年間、試験に受からず何度も心が折れそうになる苦しい時間を過ごしました。4回目の試験の前は仕事を辞めてしまって、一生懶を通じてあれほど勉強することはもうないであろうというくらい勉強してようやく試験に合格することが出来ました。ですから、聰明な社会保険労務士というにはほど遠く、今でも勉強の日々だと思っています。

障害のある子の子育て

私には自閉症で重度の知的障害の息子がいます。小さいころから、「なぜうちの子は、公園に行っても、ずっと同じところをくるくる回っているだけで、他の子のように砂場で遊ばないのでしょう」とか、「いつもと違うところに連れていくと、激しく泣いて暴れるのはなぜだろう」とか、漠然と思うことはありました。息子に知的障害があると気づかされたのは、息子が2歳の時、保育園の園長先生から「息子さんは指

差しをしない。視線が合わない。」ということを指摘され、こども病院の受診を進められたことからでした。診断名がついた時、おそらく障害のある子をもつ親なら皆さんそうかもしれませんのが、おそらく一生分くらいの涙を流したかもしれません。何とか治らないものかと、親子教室、言語教室、あげくの果ては、気功、靈能者のところにまで、嫌がる息子を連れて行きましたが、何が変わることはありませんでした。

した。ようやく息子の障害を受け入れられるようになったのは、息子が小学校に上がるくらいだったよう思います。お茶のペットボトルを指差して、「お茶」と教え始め、息子が「ちゃ」と言えるようなるまでに、5年間かかりました。考えられないほど忍耐の日々です。悩みに悩んで、療育の本もたくさん読みましたし、子育て講座にも足を運びました。その中で、私はある人の前で「息子は言葉も話せないし、何もできません。大人になっても、限られた世界でしか生きることができず、幸せになれません。私は母親として、そんなふうに息子を産んでしまって、どうしたらよいかわかりません。」と号泣して相談をしたことがあります。その時にその人は「息子さんが幸せかどうかは、息子さんが決めることがあって、お母さんが決めることではない。」「言葉が話せない子の幸せのバロメータはその子の表情、笑顔ですよ。」という話をされました。その話をしてくれたのも、重度の障害のある子をもつ先輩お母さんです。その話を聞いた時から、「息子が一生笑顔でいられるように」それが私の子育ての目標になりました。

とはいっても、仕事をしながら子育てをすることは、本当に大変なことです。自分の心に余裕がなくて、息子を叱ってしまい、反省することもあります。世の中のお母さんは、本当に頑張っていると思います。私も、息子の障害が重かったということもあり、保育園に午後2時頃までしか預かってもらえないかったり、昔は放課後等デイサービスも今のように事業所がたくさんありませんでしたから、夏休みは1日4時間までしか預かってもらえないかなつたりと、何度も仕事を辞めなければならぬかもしれないと思うことがありました。その時に、私の母が「子供は1人で育てようとせず、みんなで育てればいい。みんなで愛情いっぱい育てた方がきっといい子に育つ。」と言ってくれたことで救われた気がしました。子育ては1人で抱えてはいけないと、子育てで悩んでいる方に言いたいです。私も家族、放課後等デイサービスのスタッフさん、学校の先生、友人、先輩お母さんなど、多くの方々に支えられ、色々とんでもない行動をやらかす息子に翻弄されながらも、どうにかやってこられた感じです。仕事と子育ての両立も、人の支えなしでは成立しないと思います。支えてくれている人に感謝しかないです。

ひまわり事業団との関りは？

弁護士の増本先生（前号の機関誌で紹介）のご紹介で、ひまわり事業団とおつきあいすることになりました。ひまわり事業団は障害のある方もたくさん働いていらっしゃって、個々の可能性を広げようとされているところが素晴らしいと常々思いますし、それをサポートしている職員さん達の志

が高く、優しい。ひまわり事業団の職員さんや利用者さんから、色々な支援の形を教えて頂き、当事者家族としても勇気を頂いています。今後も団体が真面目に取り組んでいる課題解決に向け、微力ながら応援したいと思っています。

この先目指すものは？

社会保険労務士という仕事以外に、現在はコロナの影響で思うように活動出来ていませんが、しづおか権利擁護相談室という任意団体を立ち上げました。目指しているものは地域の中の身近なよろず相談室のような場所です。さらに、非常勤でしかかかわれませんが、Grand Farm株式会社という会社で、今後、障害のある方々が農業分野で生きがいを感じながら働くよう、体験から農業法人に就労できるシ

ステム作りに取り組んでいきます。やりたいことは山ほどあるのですが、なかなか目の前のことを必死にこなすだけで精一杯という毎日で、自分でもどこまでやれるのか全くわかりません。それでも、「その人が笑顔で暮らしていくように、出来ることは何か」ということを考えながら、地道にやっていきたいと思っています。

「新型コロナウィルス感染拡大」

依然として連日報道される新型コロナウィルス。4月16日に発令された緊急事態宣言を受け、4月17日～5月末まで、当団体でも障害当事者の感染予防を最優先に考え、通所サービス（生活介護、就労継続支援B型、放課後等デイサービス）は可能な限り在宅訪問支援に切り替え、通所人数を制限。なな～ら（共同生活援助）でも、食堂に集まることを避け、各居室での食事提供へ。スタッフも可能な限りテレワークを導入し、出勤する職員数を制限と対応に追われた。

また、第2波に備え、8月17日～8月28日までも同様の対応を行った。ZoomやGoogleのリモートデスクトップの活用など、テレワークの可能性を感じた部分も多いが、生活リズムが変化したこと、不安を訴える利用者も多く、感染予防とサービス提供のバランスに悩み、それはしばらく続くだろう。

「高齢者や基礎疾患のある人は重症化する」

この一文は、障害当事者である自分には非常に重い一文であった。まして、喫煙者はほぼ重症化・重篤化すること。障害者（頸損）で喫煙者の自分は罹患したら十中八九重篤化するであろうと考えたら急に不安を感じることになったのである。

テレビを見れば日々コロナ感染拡大のニュースが流れ、映し出されるのは次々に重症化し人工呼吸器が必要とした患者の急増、医療現場の逼迫、崩壊寸前の実情。気が付けば、世界の危機の真っ最中のうちに自分がいる感覚で、私自身もう恐怖しかない。

「重度障害者は命の選別される危険性を感じる」

第一波の時、重症化した患者の多くには人工呼吸器が必要で、重症患者が増加してきたとき、医療崩壊を防ぐために、障害者はもしかしたら命の選別対象になってしまったかも知れないという不安があった。もし、万が一自分が感染してしまったら、介助者が感染してしまったら、治療体制をどうするか、介助体制をどうするかを真剣に考えておくことが必要であると改めて感じた。このような

事態では、障害のあるなしに関係なく世の中すべての人が感染リスクの対象になる。医療体制の確保や人材の確保は大事なことであるが、「罹患してしまった時の体制づくり」と同時に、日々懸命に命の現場で未知のウィルスと奮闘している医療従事者のためにも、まずはやはり「からないための準備」が最優先であると私は考える。

文：大川速巳

派遣事業所でヘルパーが感染した実例

今回、他県でヘルパーが感染した事業所より情報提供を受けた。静岡市では幸い福祉現場でのクラスターは発生していないが、今回の経験談を参考に「陽性者（濃厚接触者）が出たら」を想定した対応を個別具体的に決定する必要がある。

（A 事業所の場合）※実例報告

B ヘルパーよりPCR検査で陽性となったことが事業所に連絡が入り、そのまま入院。

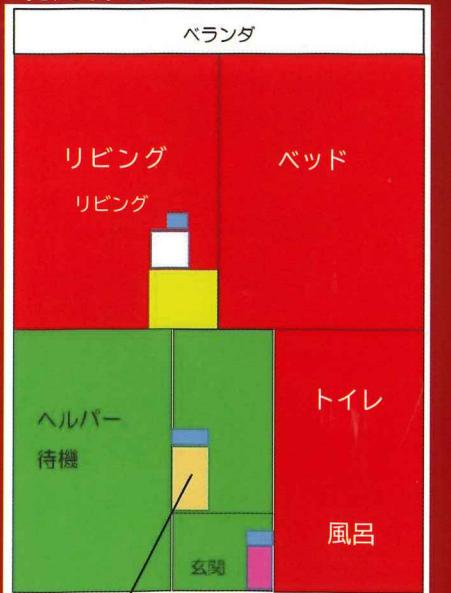
濃厚接触者（症状が出る2日前までに、15分以上の関わりをした）として2名の利用者を特定。（例：8月8日発熱、8月10日にPCR検査にて陽性→8月6日以降からの接触を調べることとなる。）さらに、濃厚接触者（利用者2名）との接触が疑われる者もリスト化し、本人へ通知。濃厚接触者もPCR検査を実施し、結果が出るまでの3日間

は自宅待機となるため、ゾーニングと防護服で介助を継続するために体制整備。（2名とも長時間介助が必要な利用者であった）

介助場面では、一介助一消毒（手袋着用時も）を徹底し、利用者と顔が対面にならないようにする、接觸時間はなるべく少なくすることを徹底。着慣れない防護服の着方、脱ぎ方についても書面、ビデオにし、介助に入る複数のヘルパーが着実に行うことができるよう準備した。

ゾーニングの例

利用者宅



新しい、防護ガウン・手袋・マスク・フェイスシールド・ヘアキャップ・アルコール消毒

医師の助言を受け、濃厚者がいるレッドゾーン、防護服を脱ぐイエローゾーン、安全でヘルパーが待機するグリーンゾーンに利用者宅をゾーニング。レッドは汚染ゾーン、グリーンは清潔、イエローがその間のグレーゾーンとなる。

- レッドゾーンに入る時は、必ず防護ガウン・手袋・ヘアキャップ・フェイスシールドを着用し、介助。
- グリーンゾーンで、防護ガウン・手袋・フェイスシールド、使い捨てマスクを着用。
- イエローゾーンでは、介助後、防護ガウンなど全て脱いでゴミ箱に捨て、手と足をアルコール消毒。ルールを設定。

陽性者が出て際に、保健所への連絡、濃厚接触者の特定、接触者へのヘルパー派遣など、事業所が行うことは多岐に渡る。今の内に各利用者さん宅を事前にゾーニングや対応策を作しておくことで感染拡大を防ぐことができる。

その他にも、トイレを借りたときの消毒箇所、ヘルパーの荷物置き場、防護服の捨て方なども細かく設定し、感染予防をして介助に入れるよう準備した。

ゾーニングに関する資料は、自立生活夢中センター様にご協力いただきました。ありがとうございました。

Series7



旅マイスターOKUの インディー旅のすすめ

イギリスで障害者と共同生活（3）

南フランスで荷物を全部盗まる！

イギリスで障害者と共同生活すべく、仕事を辞め、アパートも引き払って、日本を旅立ったOKU。「どうせいつ日本に戻るかわかんない旅なんだから、いっそのことヒコーキなんて使わないで、船と鉄道とバスだけでヨーロッパを目指そう！」…と、壮大な口マンを抱き、颯爽とシベリア鉄道に乗り込んだOKUですが…

「いやあ～、シベリア鉄道なんて乗るもんじゃないよ～」というのが正直な感想。何しろ、まるまる一週間、シャワーを浴びることが出来なければ、髪も洗えない。おまけに、外の景色は、行けども行けどもタイガと呼ばれる針葉樹の森ばかり。食堂車のメニューも限られていて、毎日ボルシチばかり。夜は三等車の狭い3段ベッドの中段に押し込まれ、ひたすら身体のかゆみに耐え続ける日々…

「こりや、まるで収容所だ…」そんな思いが脳裏をよぎる苦難？の旅でした。（今は改善されています、念のため）。

OKUは、シベリア滞留…じゃなかった、シベリア鉄道の旅を終えると、北欧諸国、ドイツ、スイスを経由して、南仏の港町マルセイユに降り立ちました。日本を出てから、すでに一ヶ月以上が経っていました。途中、ドイツで風邪をひいて寝込んだこともあります、太陽の光がさんさんと降り注ぐ南仏コートダジュールのビーチでトップレスのおねえさん♥でも眺めながら、旅の疲れを癒そうと考えたのです。鉄道でマルセイユの駅に到着したOKUは、まず港で、この街の名物ブイヤベースでも食べようと思いつつ、大きなリュックを、駅のコインロッカーに預けようとした時のことです。ロッカーの使い方が分からずマゴマゴしていると、親切そうな若者がやって来て、懇切丁寧に教えてくれました。

「いや～フランスの若者はなんて親切なんだろう♪」と、感心しつつマルセイユの港でブイヤベースに舌鼓を打って、再び駅のコインロッカーに戻って…暗証番号を入力してロッカーを開けてみると…無い！

中は、もぬけの殻。50リットルの大きなリュックがごつ然と消えているではありませんか！ガーン！！！
とたんに目の前が真っ暗になりました。「身ぐるみ剥がされた」とは、まさにこのことです。

OKUは、翌日、盜難証明を書いてもらうべく、地元のポリスの門を叩きました。でも、コトバがまったく通じない… それでも必死に、身振り手振りと時には紙に絵を描きつつ、半日ほどかけて、盗まれた荷物の中身を伝えました。

警察官は終始、実に面倒くさそうにタラタラと盗まれた物品をメモしていたのですが、その中にソニーのウォークマンがあるとわかったとたん、「おおっ！ソニーか！」と大げな身振りで叫び、他の警官までゾロゾロ出てきて、「おいっ！ソニーのウォークマンが盗まれたとさ！こりゃたいへんだ！」とちょっとした騒ぎになったのです。

思えばあの頃のソニーは世界にその名を轟かせていたものでした。

それにしても、現金とパスポート以外、荷物をすべて盗まれてしまった。着替えの服も下着もない。これからヨーロッパは寒い冬を迎えようとしている。さて、いったいどうやって乗り切ろう？（泣）

続く。 文:OKU

明治安田生命保険相互会社様から寄付金を戴きました



明治安田生命保険相互会社様では、令和2年5月22日に「新型コロナウイルス感染症拡大をふまえた社会貢献の取り組みについて」という発表をされ、「地元の元気プロジェクト」の一環として、従業員募金と会社寄付のマッチングによる「私の地元応援募金」を全国で展開されています。

この度、静岡支社の管轄地域で全14団体等に寄付することを決め、その中に当団体を選んで頂きました。

令和2年8月4日に同社静岡支社長の石田純一（いしだじゅんいち）様ら5名が来所され、当団体会議室にて贈呈式を行い、当団体が21万円を超える寄付（目録）を頂戴しました。職員も皆様の思いを受け止めて、感謝の意を表しました。

まだまだ猛威を奮っている新型コロナウイルス感染拡大防止の為に使わせて頂こうと思っています。